

## 古川祭の裏側に迫る『古川祭の裏マップ』を作成！

### ～祭り文化を次世代につなぐ～

岐阜県飛騨市



飛騨市では、市外からのお客様はもちろんのこと、市内のこれからを担う若者達にも、祭りのことをより深く知っていただくことを目的として“古川祭の裏マップ”（A1 両面印刷の折り畳み式）を作成しました。従来の市で作るパンフレットは古川祭の起し太鼓の順路や屋台の装飾を紹介するものでしたが、今回のマップはこれまでのものと異なり、各台組総代や神社役員の皆様等、様々な年代に聞き取りを行

うことで、古川祭の事前準備や事後の片づけ、当日の流れなど、“古川祭の裏側”の情報を集約しました。さらに、SNSと連動しており、「#古川祭の裏」と祭りの担い手が情報発信を行うとともに、観光客の皆様はハッシュタグを頼りに、祭りの魅力をより深く知ることができます。このように、町全体で祭の魅力発信を行うことができる仕組みとなっています。

“古川祭の裏マップ”は、市内三か所（飛騨古川駅前観光案内所、まちなか観光案内所、及び飛騨古川まつり会館）と都内1箇所（岐阜県東京事務所内の観光コーナー）で手に入れることができます。

飛騨古川は祭りの文化が町に根付いており、マップを見ることでより観光を楽しんでいただけること間違いありませんので、ぜひご活用ください。

### 飛騨古川祭について

古川祭は、気多若宮神社の例祭として毎年4月19日・20日に執り行われ、神社本殿での神事および古式ゆかしい「御神興行列」に、動の「起し太鼓」と静の「屋台行列」を含めた三行事で構成されています。その中でも「古川祭の起し太鼓・屋台行事」が2016年12月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

令和4年は3年ぶりに古川祭を開催することとなり、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できていなかった祭りの文化伝承を目的として行われるため、規模を縮小しての実施となりますが、見どころの一つである、屋台の曳揃えが行われます。



— 本件に関する、一般の方から、及び報道関係からのお問合せ先 —

飛騨市役所 まちづくり観光課

担当：齋藤、三本木 TEL 0577-73-7463